

大泉小学校における児童との意見交換会 令和7年7月8日実施

質問・要望(要旨)		回答(要旨)
1	教育委員会の方々のお仕事を教えてください。	<p>教育委員会は、皆さんの学校生活や学びを支えるために多くの仕事をしています。教育長と4人の教育委員が月に2回会議を開き、練馬区の子どもたちのために必要なことを話し合い決定します。仕事の内容は、学校の建物や体育館のエアコンなどの設備整備、教科書の選定、先生方の配置や研修などです。また、入学や転校の手続き、通学路の安全確保のための見守り、給食やタブレット、机や椅子、ピアノなどの準備も行っています。こうした業務を進めるために、教育委員会には事務局という職員チームがあり、多くの人が協力しています。平成24年度には業務を見直し、現在は保育園や学童クラブなど、生まれてから18歳くらいまでの子ども全体を支える仕事も担っています。教育委員会は、皆さんのが毎日安心して学校に通い、楽しく学べるよう、これからもさまざまな形で応援していきます。</p>
2	教育委員会の今の目標は何ですか。	<p>教育委員会は、皆さんのが安心して生活し、豊かな心と健やかな体を育み、将来にわたって学び続ける力や夢、目標を持ち困難を乗り越える力を身につけることを目指しています。そのため、学校では先生が授業を工夫し、教育委員会は保護者や地域と協力して安全で楽しい環境づくりを進めています。地域の方々は通学路の見守りや昔遊び体験などの特別授業を行い、教育委員会はその活動を支援するためにアドバイスや道具、場所の準備をしています。</p> <p>また、学校のトイレをきれいにしたり、教室にエアコンを設置したり、タブレットや本、理科の実験道具など学びに必要なものを整えることも重要な仕事です。心の面では、いじめ防止の取り組みや相談窓口の設置、スクールカウンセラーや相談員による支援を行い、困ったときに安心して相談できる体制を整えています。教育委員会は、皆さんのが「練馬区の学校で学んでよかった」と思えるよう、先生方や地域と協力しながらさまざまな取り組みを続けています。</p>

質問・要望(要旨)	回答(要旨)
3 お仕事を進めていく上で、大変なことがたくさんあったと思いますが、今まで教育委員をしていてよかったなど思ったことはどういうことですか。詳しく教えてください。	<p>教育委員になって学校を訪問し、子どもたちが元気に挨拶し、一生懸命学ぶ姿を見て、のびのび育っていることを実感しました。</p> <p>教育委員会は、練馬の子どもたちが健やかに成長できるよう、どのような環境や教科書がよいかを事務局や学校と一致団結して話し合っています。こうした取り組みを知り、教育委員になって驚きました。子どもたちの成長を見守る体制が整っていることを理解し、これからも頑張りたいと思います。</p> <p>皆さんには心も体も大きく成長し、多くの人と出会い、経験を積み、学びを深めてほしいと願っていますが、プレッシャーを感じる必要はなく、自分のペースで進んでください。自分の学校を誇りに思い、卒業後も自慢できるような環境づくりを目指しています。</p>
4 教育委員会の方々が私たち子どもに求めていることはなんですか。	<p>教育委員会は、皆さんに自信を持って自分の学校に通い、卒業後も誇れる環境を整えることを目指しています。義務教育は国が定めた制度で、日本中の子どもたちに「自分の学校」があります。小学校6年間の間には、けがや病気で休むこともありますが、治ったときには必ず学校が皆さんを待っています。それが「自分の学校」です。皆さん自身も、このことを覚えておき、誰かに伝えてください。</p> <p>学校は学びの場であり、夢や目標を持って努力することが大切です。教育委員会は、皆さんに安心して学び、卒業後も「この学校でよかった」と思えるような環境づくりを進めています。ぜひ、自分の学校を誇りに思い、自慢してください。</p>

質問・要望(要旨)	回答(要旨)
5 現在、自分たち6年生は、総合的な学習の時間で「共生」をテーマに学習を進めています。どうしたら、色々な方々と気持ちよく共に生きることができるのか、まずは、今の状況を知ろうと外国の方との交流を通してインタビューをしています。外国の方から、 1 相手に会わせることが大切 2 関心を持つこと 3 自分を好きになる、好きな自分になることが必要だと聞きました。私たちがこれから外国の方と共に生きていく上で心掛けた方がいいことはありますか。また、そのためにはどのようなことを学んでいけばいいですか。	世界には分断や争いがありますが、仲良く共に生きることを目指す姿勢は尊いものです。お互いを理解し、コミュニケーション力を高めることが大切です。自分の考えをしっかり伝え、相手の話をよく聞くことを心がけてください。文化や習慣の違いを認め合い、対等な関係を築くことが共生社会の基盤です。夢や目標を持ち、努力する姿勢は、人を惹きつけ、仲良くしたいと思わせる力になります。共生は生物の進化の歴史にも根付いており、社会の進歩に欠かせないものです。教育委員会は、こうした理念を大切にしながら、皆さん安心して学び、未来を切り拓けるよう支えています。
6 教育委員会の方々は外国の方と関わりがありますか？もし、関わりがある場合、どのようなことを大切にしながら関わりをもたれていますか。	練馬区には約75万人が暮らし、そのうち約2万8千人が外国籍の方です。教育委員会では幼稚園、保育園、小・中学校で日々外国籍の子どもも関わっています。入学時には保護者が教育委員会窓口に来るため、英語や中国語のパンフレットや通訳、翻訳機を活用し、日本の学校生活や学習内容を丁寧に説明しています。学校では日本語指導の先生を派遣し、翻訳機を使えるようにして、安心して学べる環境を整えています。大切なのは、相手の立場に立って考えることです。日本で当たり前のことが相手にとっては当たり前ではないため、やさしい日本語で丁寧に説明し、相手の考えを正確に理解するよう努めています。今後は国内で多国籍の方が増え、皆さんも外国に行く機会が増えるでしょう。言葉や文化の違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に生きる「共生」がますます重要になります。

質問・要望(要旨)	回答(要旨)
7 私たちは学習の最後に外国の方など学校にお招きして、共に気持ちよく生きていくために必要なことを考えるイベントを開きたいと思っています。そのイベントで、私たちが取り組むべきことなどあれば、教えてください。	<p>「共に気持ちよく生きていくために必要なことを考えるイベント」はとても素晴らしい取り組みだと思います。私は外国に一人で出かけ、電車に乗ったとき、周りが外国人で日本人は私だけという状況になり、非常に不安を感じました。言葉も片言しか分からず、目的地に着けるかも分からぬ中、目の前の外国人の方が片言で話しかけてくれました。言葉は通じませんでしたが、お互いに知り合おうとする姿勢が安心感につながることを実感しました。</p> <p>大切なのは、文化や習慣の違いを理解し、相手が何を考えているか、私たちが何を考えているかを正直に伝え合うことです。また、相手の気持ちを酌み取り、適切な距離感で関わることも重要です。皆さんも勉強を通じて、自分の意見を持ち、相手を理解しようとする姿勢を大切にしてください。私の話をそのまま信じる必要はなく、自分の経験を重ねて考えを深めてほしいと思います。文化や習慣の違いを知り、理解し、思いやりを持って接することが、共に生きるために欠かせないことです。</p>
8 教育委員会の方々は、外国の方だけでなく練馬区のみんなが「共生」していくために何が必要と考えますか。	<p>社会には、障害や高齢、妊娠などで不自由な人がいます。建物のバリアフリーは進んでいますが、次に必要なのは「心のバリアフリー」です。困っている人に「お手伝いしましょうか」と声をかけるだけで、相手はとても助かります。認知症やさまざまなハンディを持つ人もいますが、理解し、思いやりを持って接することが共生の基本です。皆さん一人ひとりがかけがえのない存在であり、自分も人も大切にする心を持ち続けることが、優しいまちづくりにつながります。助け合って共に生きることが、これからの社会に必要なことです。</p>